



# 日本聖公会東京教区 聖アンデレ教会

主教 フランシスコ・ザビエル 高橋宏幸 牧師 司祭 ステパノ 卓志雄  
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18  
電話 03-3431-2822 FAX 03-3434-5698 電話礼拝 03-3431-0250  
E-mail:st-andrew.tko@nssk.org HP:www.st-andrew-tokyo.com

## 復活節第3主日 (白) 2026年4月19日

### 礼拝案内

- † 午前7時30分 聖餐式  
(午前7時25分 礼拝奉仕者の祈りの集い)  
司式：司祭 卓志雄  
説教：司祭 卓志雄  
聖歌 389 363 159
- † 午前9時15分  
こどもとともにささげる礼拝  
司式・お話：司祭 卓志雄  
聖歌 389 363 159
- † 午前10時30分 聖餐式  
(午前10時10分 礼拝奉仕者祈りの集い)  
司式：司祭 卓志雄

### 入堂聖歌 389

- 参入 1頁(162頁)
- 清めの祈り 1頁(162頁)
- キリエ 3頁(163頁)
- 大栄光の歌 4頁(164頁)
- 特祷 (復活節第3主日)

### み言葉

- 第一朗読 使徒言行録 2章 14a,36-41 節
- 詩編 第116編 1-4, 11-18 節
- 第二朗読 ペトロの手紙 一 1章 17-23 節

### 福音書前聖歌 174

- 福音書 ルカによる福音書 4章 13-35 節
- 説教：  
ニケヤ信経 9頁(166頁)
- 代祷 (週報2面) 12頁(168頁)
- 懺悔 13頁(170頁)

### 聖餐

- 平和の挨拶 15頁(171頁)
- 奉献聖歌 363
- 奉献
- 感謝聖別(II) 20頁(176頁)
- 陪餐 24頁(180頁)
- 陪餐聖歌 269
- 感謝 28頁(182頁)
- 祝福 28頁(183頁)
- 派遣
- 退堂聖歌 159

- † 午後5時 夕の礼拝  
司式：信徒奉事者 聖歌 11  
詩 114,115 ダニ 3:31-4:15 Iヨハ 2:7-17

### 1分典礼 (礼拝 Q&A) ㊥

#### 【聖餐式の中で献げられる献金について】

献金とは、「すべてのものは主の賜物。わたしたちは主から受けて主に献げたのです」(歴代誌上 29章 14節)という聖書のことばを實踐する、尊い信仰の営みです。聖アンデレ教会では、これからも聖堂を守り、安定した礼拝の場を保ち、祈りをささげ続けるため、また地域の方々には仕えるために、皆様からお献げいただいた献金を大切に用いております。教会の献金には、主に次のような種類があります。

・「信施」：毎主日の礼拝の中で献金袋にお入れいただく献金です。主に、社会福祉活動や支援団体、災害救援などのために用いられます。奉献先については、主日の週報の代祷欄に記されています。

・「通常(月約)献金」：教会および教区の維持、教役者の俸給、宣教や奉仕活動のために用いられ、教会全体の働きを支える大切な献金です。

・「聖堂維持献金」：聖堂を守るための修繕や営繕、将来の大規模改修に備えるために積み立てられます。

・「感謝献金」：誕生日や洗礼・堅信、逝去、引越し、入学、卒業、葬儀などの記念などを覚え、また特別な恵みに対する感謝を形にして献げるものです。このほかにも、クリスマスやイースターなど、教会暦に沿った献金がございます。これらの献金は、教会の宣教や奉仕活動をはじめとする、教会全体の働きのために用いられます。

どの献金を大切にされるかは、それぞれのお心に委ねられています。どうぞ、祈りのうちに、ご自身が大切に思われる献金をおささげください。

## 本日の代祷 <敬称略>

一同着席する。

執事は次のように言う。司祭または会衆の代表者が言ってもよい。

執事 救い主イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、全公会のため、また世界のために祈りましょう  
※ ( ) 内の斜体は音読しなくてもよい。

<わたしたち教会・全公会のため>

代祷者 神よ、主の公会、ことに

[聖アンデレ教会

(ステパノ 卓志雄司祭、トマス日高馨輔執事)]

わたしたち教会の宣教・奉仕の働き、

教会に関わる諸団体

[東京教区(フランシスコ・ザビエル高橋宏幸主教)]

葛飾茨十字教会、

葛飾学園(保育園、ケアハウス、サン・ピエール、学童保育)

[東日本宣教協働区

(北海道・東北・北関東・東京教区)]

立教学院聖パウロ礼拝堂 礼拝堂聖別記念日 4月25日(1963年)

新町聖マルコ教会 聖マルコ日(4月25日)

玉村講義所

[日本聖公会(首座主教ダビデ上原榮正主教)]

京都教区のすべての働き

[エルサレムおよび中東聖公会

(ホサム・ナウム大主教)]

ベイルート

諸聖徒教会

[全世界の聖公会]

ミャンマー聖公会

[日本キリスト教協議会(NCC)の働き]

日本バプテスト連盟

を強めて、み子のみ業を行わせてください。

すべての聖職と信徒、ことに私たちの主教

フランシスコ・ザビエル

を導き、み名を呼ぶ者を主の真理と愛のうちに

一致させ日々主の栄光をこの世に現す者とならせてください

会衆 主よ、お聞きください

<平和と正義の実現のため>

代祷者 神よ、すべての国の人びと、ことに、

ウクライナや中東、またイランに対するアメリカとイスラエルの攻撃によって混乱のただなかにある地域の人びと、ことにそれらの指導的立場の人びとに知恵を与えて正義と平和の道に導いてください。互いに尊敬する心を与え、ともにすべての人の幸いを求めさせてください

会衆 主よ、お聞きください

<隣り人のため>

代祷者 神よ、わたしたちと家族、すべての友人と隣り人、ことに、

日々を共に暮らし、また離れて暮らすそれぞれの家族、友人、同僚、心にかけている人びと、聖アンデレ教会に連なるすべての人びと、ボーイスカウト東京港第14団、ガールスカウト東京都第138団、入信を希望している人びと、洗礼、堅信、初陪餐、結婚の準備をしている人びと、さまざまな理由によって教会から離れている人びと、この地域で生活し、働いている人びと、生命(いのち)の問題、困難な人びとを支える働きに関わる人びと、4月の代祷・信施奉獻先となっている働き・団体、ことに、エルサレム教区(全聖公会決議)、児童養護施設((社福)エリザベスサンダースホーム、(社福)福光会児童養護施設子どもの園)、月島聖ルカ保育園((社福)ひかりの子)、神学校((総会決議)聖公会神学院、ウィリアムス神学館)

に恵みを与え、ともに主を知り、主に仕え、互いに愛することができるようにしてください

会衆 主よ、お聞きください

<困難な状況にある人のため>

代祷者 神よ、悩む人、悲しむ人、病気の人、貧しい人、その他災いの中にある人びと、ことに感染症の収束のため

[病床にある人・自宅療養中の人・別紙参照]

世界各地の震災の被災者

世界各地の自然災害の被害のため困難な状況にある人びと、住む場所を追われた人びと、自由を奪われ拘束されている人びと、戦争や暴力、犯罪や差別に苦しむ人びと

## <お知らせ>

を顧み、み力を与えて、勇氣と希望を増し加え、  
主の救いの喜びに導いてください  
会衆 主よ、お聞きください

### <逝去者のため>


代祷者 神よ、世を去ったすべての人、それぞれが  
覚える逝去者

[今週逝去の記念日を迎える人(=別紙参照)]

暴力や犯罪、災害の犠牲となった人  
を顧み、彼らの上に主の愛のみ旨を成し遂げてくだ  
さい。わたしたちは、世々に主の証人たちに与えら  
れた主の恵みのゆえに、み名をたたえます。どうか、  
わたしたちも、彼らとの交わりを保ち、ともにみ国  
の栄光にあずからせてください

一同 主よ、これらのことをみ子イエス・キリスト  
によってお願いいたします アーメン

【聖アンデレ教会周辺 まちあるき: 4月29日(水/祝)】  
教会で顔を見かけたことはあるけれど名前は知ら  
ない、あまり話したことはないけれど少し話して  
みたい、仲良くなれたらいいな——そんな声を受  
けて、聖アンデレ教会では青年世代(中高生・大  
学生)を対象とした交流イベントを、4月29日  
(水・祝)に企画しました。普段なかなか教会に  
足を運ぶ機会がない方も、どうぞ気軽にご参加く  
ださい。同世代の仲間と出会い、楽しいひととき  
を分かち合える機会になればと願っています。当  
日は、教会で昼食後、教会周辺～青山エリアのフ  
ィールドワークを行ないます。詳細はチラシをご  
確認ください。ご家族で中高生・大学生のお子様  
がいらっしゃる方は、ぜひご案内ください。  
\*先日お配りしたチラシのQRコードに不備があ  
りました。すでにお申し込みいただいた方も、お  
手数ですが下記リンクから再度お申し込みを願  
いいたします。

 <https://x.gd/tU5xP>

### ◇ チャリティー落語会 アンデレ寄席

2026年5月16日(土) 17時～  
聖アンデレ教会聖堂にて

### ◇ チャリティーコンサート

#### 第23回教会にJAZZが来た!

2026年7月11日(土) 17時～  
聖アンデレ教会聖堂にて

いずれも、チケットは好評発売中です。  
詳細はチラシをご覧ください。  
皆さま お誘いあわせの上、ぜひご来場ください

◇ 「礼拝奉仕・諸活動グループに関するアンケート  
③のお願い」を郵送いたしました。締め切りは  
4月26日(日)です。ご協力のほど、よろしく  
お願いいたします。

◇ 西側崖地の法面整備(伐採および土留め工事)が  
行われています。(4月24日まで)

◇ 【聖書を学ぶ会】毎月第1水曜日 13時30分よ  
り、「聖書を学ぶ会」を開催しています。来月は  
5月6日(水)です。現在、土井かおる著『よく  
わかるキリスト教』(PHP 研究所、2004年)を  
テキストとして用い、聖書、キリスト教の歴史、  
教理、ならびに現代における課題について学びを  
深めています。多くの方の参加を歓迎し、この学  
びの時が、より豊かなものとして与えられること  
を願っています。

◇ 聖アンデレ教会広報のYouTubeチャンネル  
「今、福音に聴く」では、マタイによる福音書の  
最終回を配信しています。メッセージは、当教会  
の卓志雄司祭です。次回、ヨハネによる福音書ま  
で、どうぞ今しばらくお待ちください。ご視聴は  
[tps://www.youtube.com/watch?v=ehwlo2BnVz0](https://www.youtube.com/watch?v=ehwlo2BnVz0)  
又は左のQRコードからお願いいたします。



聖アンデレ教会広報チャンネルでは、様々な情報を配  
信中です。また、フェイスブックページから折々の教  
会の様子やお知らせをお伝えしています。上のQRコ  
ードからご覧ください。

### 「聖書朗読(旧約聖書、使徒書)」を 分担しませんか

み言葉を皆さんの前で声を出して読むことは、素晴  
らしい恵みです。ご自分の受洗や堅信の記念日、誕生  
日、結婚記念日、ご家族の逝去記念日などを迎える  
主日に是非ご奉仕ください。ご希望の方は、聖堂受  
付付近の表にお名前をご記入ください。

ご家族・少人数での記念式や礼拝参加、牧会訪問、自  
宅や病床での陪餐を希望される方は、教会までご遠  
慮なくご連絡をください。

## 本日・今週の予定

4月19日(日) 復活節第3主日 (A年)

7時半 聖餐式  
9時半 15分 こどもとともにささげる礼拝  
10時半 聖餐式  
17時 夕の礼拝

・礼拝後 愛餐会 ・13時 聖歌隊練習  
・13時半 教会委員会

20日(月) 7時半礼拝 卓志雄司祭  
使 6:8-15 詩 119:17-24 ヨハ 6:22-29

21日(火) 7時半礼拝 卓志雄司祭  
使 7:51-8:1a 詩 31:1-5,16 ヨハ 6:30-35

22日(水)  
使 8:1b-8 詩 66:1-6 ヨハ 6:35-40

23日(木) 7時半礼拝 卓志雄司祭  
使 8:26-36,38-40 詩 66:7-8,15-19 ヨハ 6:44-51

24日(金) 7時半礼拝 高橋宏幸主教  
使 9:1-20 詩 117 ヨハ 6:52-59

25日(土) 福音記者聖マルコ日 7時半礼拝 卓志雄司祭  
イザ 52:7-10 詩 2:7-10 エフェ 4:7-8,11-16 マル 16:15-20

・13時 教区信徒奉事者の集い  
・17時半 洗礼の学び

26日(日) 復活節第4主日

7時半 聖餐式  
9時 15分 こどもとともにささげる礼拝  
10時半 聖餐式  
使 2:42-47 詩 23 I ペト 2:19-25 ヨハ 10:1-10  
聖歌 47, 462, 167, 244, 164  
17時 夕の礼拝  
詩 103 知 1:1-15 I ヨハ 2:18-29 聖歌 512

・礼拝後 愛餐会 ・13時 墓地委員会  
・13時 ガールスカウト フライアップ式  
・16時 城南 G 牧師協議会

### 今週のメッセージ

教会に初めて来られた方を「新来者」と呼びます。そして、洗礼を受けようとする新来者を「求道者」と言います。しかし「求道者」とは本来、道を探し求める人という意味ですから、すでに洗礼や堅信を受けた人も含めて、私たち皆が求道者であると言えるでしょう。

私たちは皆、神様との親しい交わりに生きる道、まことの救いに至る道、神の国に至る道を探し求めながら歩んでいます。だからこそ、「信仰の歩み」という言葉が祈りの中で繰り返し用いられるのだと思います。

しかし、信仰の道はいつも穏やかで平らな道とは限りません。山があり、谷があり、坂があり、ときには険しい道に立ち止まってしまうこともあります。歩み続ける力も勇気も希望も失い、涙の中で倒れてしまい、もう歩けないと感ずることもあるでしょう。もしかすると、「今」がまさにそのような時かもしれません。

今日の福音書に登場する二人の弟子が歩いていたエマオへの道も、悲しみと苦しみ、そして絶望の道でした。イエス様こそ人々に救いをもたらしてくださる方だと信じて従ってきたのに、そのイエス様が十字架で亡くなられた現実の中で、彼らは歩いていました。まさか、その道でイエス様ご自身と再び出会うとは思いませんでした。彼らにとって「イエスの不在」は動かしがたい現実だったのです。

私たちもまた、「今、神様はおられないのではないか」と感じる時があるかもしれません。しかし、私たちの人生に「一人だけの旅路」はありません。福音書が語るように、エマオへの道は私たち自身の歩みを映し出しています。

どのような時であっても、イエス様は私たちと共に歩んでおられます。喜びの時も、悲しみの時も、希望に満ちている時も、絶望の中にある時も、共にいてくださいます。そして、私たちが疲れ果てた時には、優しく支え、背負ってくださるのです。

「二人の目は遮られていて、イエスだとは分からなかった」とあるように、弟子たちはイエス様が共におられることに気づいていませんでした。私たちも同じように、その現存に気づかないことがあるのかもしれません。

しかしイエス様は、さまざまな方法でご自身を現してください。とくに、聖書のみ言葉と聖餐を通して、私たちにご自身を示してください。弟子たちがパンを裂かれたときに目が開かれ、「心が燃えていた」と気づいたように、私たちもまた、み言葉と聖餐によって養われ、力と勇気と希望を与えられて歩いていくのです。

さらに、イエス様は人との出会いを通してご自身を現してください。弟子たちにとって、一緒に歩いていた方は見知らぬ人、いわば「他者」でした。しかしその方こそ復活のイエス様でした。

私たちの日常においても、思いがけない出会いの中で、神様はご自身を現しておられるのです。私たちはそれに気づいていないだけなのかもしれません。

このように、私たちが分かるようにと、あらゆる方法を通してご自身を現してください。復活のイエス様が、今も皆さんと共に歩んでおられます。そして、尽きることのない恵みと慰め、そして愛を与えてくださることを、固く信じたいと思います。

(司祭 卓志雄)